

# 科目区分：人間科学科目

授業科目名	人間と環境（感染と環境）				学期	曜日	校時
英語名	Human and Environment ( Infection and Environment )						
担当 教官名	神原廣二 高木正洋 溝田 勉	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	火曜日 3校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>感染症というものは、宿主（人など病気になるもの）と寄生体（病原体）及び病気によっては媒介者（蚊など）という複数の生物間にみられる生物学的関係の上に成立している。全ての生物は環境の影響下にあるわけだから、環境への思慮なくして感染症の流行は語れない。この授業では、各教官が感染症の最も深刻な熱帯開発途上国での豊富な調査・研究経験に立ち、講義を通して「健康な環境」とは何か？を共に考えて行く。</p>							
テキスト、教材等							
<p>指定教科書はない。参考となる図書やインターネットサイトは適宜紹介する。 時により自作のハンド・アウトを教材として用いる。</p>							
対象学生	成績評価の方法			教官研究室			
全学部	講義時間内あるいは後に小テストやレポート提出により評価する。						
授業計画							
<p>1. <b>人間と感染症</b>（担当：熱帯医学研究所・感染細胞修飾機構分野、神原廣二） SARS の出現にみるように人間の作り出す環境と社会は時代に応じた感染症を生みだす。人間社会の変遷につれて変わってきた感染症をマラリア、眠り病などの原虫性疾患を中心にどのような社会、環境状態で病気が発生してくるのかを解説する。</p> <p>2. <b>熱帯の環境と感染症</b>（担当：熱帯医学研究所・生物環境分野、高木正洋） 熱帯とはどんな環境か？そこでの感染症の流行はどうなっているのか？を、熱帯現地のマラリア、デング熱、各種ウィルス性脳炎などの様相をその媒介者（蚊）と共に例示しながら解説する。また近年の熱帯開発途上国で著しい環境変化の、媒介者に与える影響についても考える。</p> <p>3.（担当：熱帯医学研究所・社会環境分野、溝田 勉）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「新興・再興感染症とその原因」</li> <li>2) 「環境ホルモンと人間環境」</li> <li>3) 「開発と環境のバランス」</li> <li>4) 「『人間の安全保障』を推進する国連」</li> <li>5) 「人間開発に資する環境国際協力」</li> </ol>							